

日 時：令和4年12月22日（木）13：00～14：30

場 所：えーるピア久留米 209研修室、210・211研修室

出席者：委員14名（欠席1名）

内 容：事前指導

- ・プレゼンテーション発表「自殺予防対策委員会の取り組みについて」
- ・質疑応答

事前指導において、審査員からの助言に対し、以下のとおりプレゼンテーション資料に追加修正（赤字）をしました。

委 員	助 言	対 応
ワン委員	久留米市の自殺対策は、特徴的な取り組みをしており、成果も出ているが、今回、WHOが出している指針を紹介したい。2019年のものだが、世界では40秒に一人の方が自殺で亡くなっており、40秒をキーワードに8つのアクションを提唱している。今後この指針を参考にして、対策委員を含め市民一人ひとりがそれぞれの立場でできることから取り組んで欲しい。	委員からの提唱があった、「40秒のアクション」について、プレゼンテーションの最後（34ページ）に掲載しました。
チョ委員	11ページ「3-9. データに基づく課題」について、自殺未遂者だけでなく、既遂者の家族もハイリスク者になると考えている。このことに対してどういった取り組みをしているのか追記して欲しい。	本市においても、自殺で亡くなった家族等もハイリスク者になると捉えていることから、22ページの自殺未遂者支援の説明と併せて、保健所において自死遺族が集い語り合う「わかち合いの会」を実施していること、また自死遺族向けの相談窓口を掲載したリーフレットを配布していることを説明として加えました。
	11ページ「3-9. データに基づく課題」について、首吊りや焼身、飛び降り、交通事故は致死率が高く、このような人達が命を失わずに済むような対策を考えて欲しい。	既遂に至る前の環境整備は重要ですが、こうした手段による自殺を予防することは難しい面もあるため、本市では、自損行為に至る前のSOSをキャッチし、精神科受診等の支援につなげると共に、誰もがSOSを出せる地域づくり等、環境の整備を行い、「医療」と「地域」の両輪による支援を説明として加えました。
JISC 白石氏 （指導後の助言）	認証の審査において、審査員はセーフコミュニティがどのように市の自殺対策に活かされているのかといった視点で審査される。 15ページ～17ページの「レベル別対策」に「市レベル」の「規則」に自殺対策計画を追加すると、市と対策委員会の取組みが	助言のとおり、「レベル別対策」に「市レベル」の「規則」に自殺対策計画を追加しました。

委 員	助 言	対 応
	連動していることをみせられるため、追加してはどうか。	
	27ページ「6－9. 取り組み事例・成果」の「こころの相談カフェ」について、以前は別の会場で実施していたと記憶している。これまで見直してきたことを表すことで、PDCAを回していることがわかるため、口頭説明に盛り込んでみてはどうか。	「こころの相談カフェ」は、開設当初は平日昼間の時間帯に百貨店で実施していましたが、本市の自殺者として多い、中高年男性の利用を促すため、日時を日曜日や夕方以降の時間も設定したり、男性も立ち寄りやすい市民図書館や市民活動センターに会場を移したりと、見直しを図ってきました。この経過を説明に追加しました。
	32ページ「9. 再認証取得後の変化」も具体的に説明したほうがよい。	「再認証取得後の変化」について、事業の拡大や工夫した具体的な内容を説明に追加しました。

合同対策委員会についての振り返り（R5.3.24 開催）

■概要

日時：令和5年3月24日13:30～15:00

会場：久留米シティプラザ 5階 大会議室

参加者：48人

内容：（１）報告：これまでのセーフコミュニティ活動の取組と今後の展開について
（２）ワークショップ

もっと安全で安心な久留米を作るために、セーフコミュニティを浸透させる
→セーフコミュニティを伝えるために、私たちができることは？

（１）これまでのセーフコミュニティ活動の取組と今後の展開について

セーフコミュニティの目的 = 久留米の安全・安心の向上

交通事故発生件数 61%減 (H23→R3)	児童相談件数 相談体制の充実等 により 3.9倍 (H27→R3)	全小学校の けが発生率 10.5%→7.0% (H23→R3)	転倒予防講座の 延べ受講者数 7,123人 (H28～R3平均)
一般刑法犯 認知件数 70%減 (H23→R3)	医療機関等から 繋がった相談件数 3.4倍 (H27→R3)	かかりつけ医から 精神科医への年間 紹介件数 1,350件 (H28～R2平均)	防災研修・防災訓練 年間参加者数 5,314人 (H28～R3平均)

- 2回の認証取得でセーフコミュニティが定着し、対策委員会の取組を通して、久留米の安全安心は向上。
- 3回目の認証取得を機に、もっとセーフコミュニティを浸透させ、市民一人一人が安全安心を心がける町にしたい。
- しかし、これまで取り組んできたSCの広報啓発活動では、SCの浸透は困難（R3のSC認知度：23%）。
- また、R3年度のSC実態調査では、多くの人が安全・安心の活動に取り組みたいと考えているが、行動できていない結果も

もっと安全で安心な久留米

◆多くの人がセーフコミュニティに参加する町

◆市民一人一人が安全安心を心がける町

- SCを浸透させ、安全・安心に取り組む人を増やすためには、できるだけ多くの情報を伝えることが大切

「私たちみんなの力で、セーフコミュニティを伝え続けていきましょう！」

(2) ワークショップ意見まとめ

個人で

- 家族や友人、子どもの友達、近所の人に話す
- 飲み会のときに話題に出してみる
- 出前講座を紹介する
- 関連するフェイスブックをシェアする、
- SNS（フェイスブック、インスタグラム）に SC について投稿する
- くるっばの反射材をバッグに付けて、会った人に SC の話をする など

組織・団体の活動で

- 所属する団体で実施する活動、講演会・セミナーで SC についての話を入れる、紹介する
介護教室、防災活動、防災教室、救急講習会、児童虐待防止の講演など
- 出席する様々な会議で SC の情報発信し、他の団体組織に知ってもらう、働きかける
- 仕事で高齢者宅を訪れたときに、SC（転倒予防）についてアドバイスをする
- いきいきサロンの中で何ができるか話し合う
- 仕事などで出向いたところで SC の話をしてみる
- 自分の所属団体と関係がある施設に SC のチラシやパンフレットを置く
- 自分の団体のイベントや広報活動の際に、SC について啓発（チラシ、ブース、展示）
- 車にステッカーを貼る
- SC のベストを着て仕事をする
- 職場に SC のぼり旗をたてる
- 一緒に SC のキャンペーンを行う など

組織・団体の内部で

- 所属する団体の内部研修で SC の話をする、出前講座を実施する
- 職場の朝礼や会議、研修の場で SC について説明する、何ができるか話し合う、活動状況を報告する
- PTA や自治会の会議、活動の際に SC について話す
- 校区だよりに SC について載せる
- 掲示板にポスターを貼る
- 職員に SC について、SC の取り組みについて話をする
- 職員に家族に SC について話すよう依頼する
- 介護事業者を対象とした研修で SC について話す
- 主任児童員に周知する など

SC ロゴや記事を載せる	
○職場のメールに SC を加える ○自分の団体で作る啓発チラシに SC のマーク、SC 動画の QR コードを入れる ○自分の団体で発行する広報誌や HP に SC の記事进行載せる ○所属する組織が行う情報発信に SC を盛り込む ○学校配布物に SC について記載する ○職場で使用する封筒に SC マークを入れる	など

他にも

- 学生が参加するメッセージ動画を作る
- 入学式や卒業式で、子どもや親に話す
- 地域ケア会議で SC 目線のアドバイスをする
- SC を校区全体で取り組む
- 全世界的な取り組みであることを SC のグッズに記載する
- SC の歌を作る
- 事業所に一つずつ SC の PR をしてもらう
- 学校で子どもたちに SC の広報について考えてもらう
- 学校でワークショップを実施する
- SC と、カフェや病院、薬局とコラボする
- 久留米独自の共通の SC ロゴ・マークを作る
- Twitter でハッシュタグを付けて呟き、他市の SC と繋がる
- 事故事案が発生した直後、当事者意識が残っているうちに SC の講習会などを実施する
- 事務局が収集している統計数値を提供する
- 学校のトイレの扉を活用して安全のために必要なことを貼る

団体の集まり等では、是非、出前講座をご活用ください。出前講座に比べ、短時間で視聴できる動画の活用についてもご検討ください。

この他、団体の広報誌やチラシ、HPなどに掲載するSCロゴのデータや掲載内容など、「セーフコミュニティを伝えるためにできること」について、安全安心推進課にご相談いただければ幸いです。どんなことでもご相談ください。

久留米市協働推進部安全安心推進課 担当：豊福、岡、浦部、古賀
〒830-8520 久留米市城南町 15-3 TEL：0942-30-9094 FAX：0942-30-9706
Email：anzen@city.kurume.lg.jp

自殺予防

資料 6 追加資料

バッジやグッズ
をもとに取り組
みを伝える

学校、保護者会
等でSCについて
知ってもらう

町内会の人と話
す機会に話題に

飲み会の時に話
題として取り上
げる

会議で報告する

職場内（組織
内）でSCの取り
組みを説明する

会議の際い一言
活動を紹介

担当課で実施す
るセミナー、チ
ラシい掲載する

チラシに動画の
QRコードを載
せる

職場で報告する

救急講習会など
でSCについて話
す

S Cで頑張っ
ている地域の方
にあいさつする

いろいろなお話
をきく